

平成 29 年度後期 学生による授業評価アンケートの分析

平成 29 (2017) 年度後期の学生による授業評価アンケートは、12 月 11 日から 15 日の 5 日間、前年度と同様に原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施講義科目は 413 科目であり、学生による平均の回答率は 54.5%であった。

前期と同様に、講義科目の結果は、授業の進め方についての 10 項目では、全ての項目で 75%以上の学生が適切である（そう思う、どちらかというと思う）と回答した。一方、学生の行動・理解についての 7 項目では、積極的な受講態度と予習復習について 60%程度の学生が肯定的な回答であったが、その他の項目では 70%以上が適切な行動・理解を示す回答であった (Figure)。今後、学生の積極的な受講態度、予習復習の実行についての指導を行うことが望まれる。

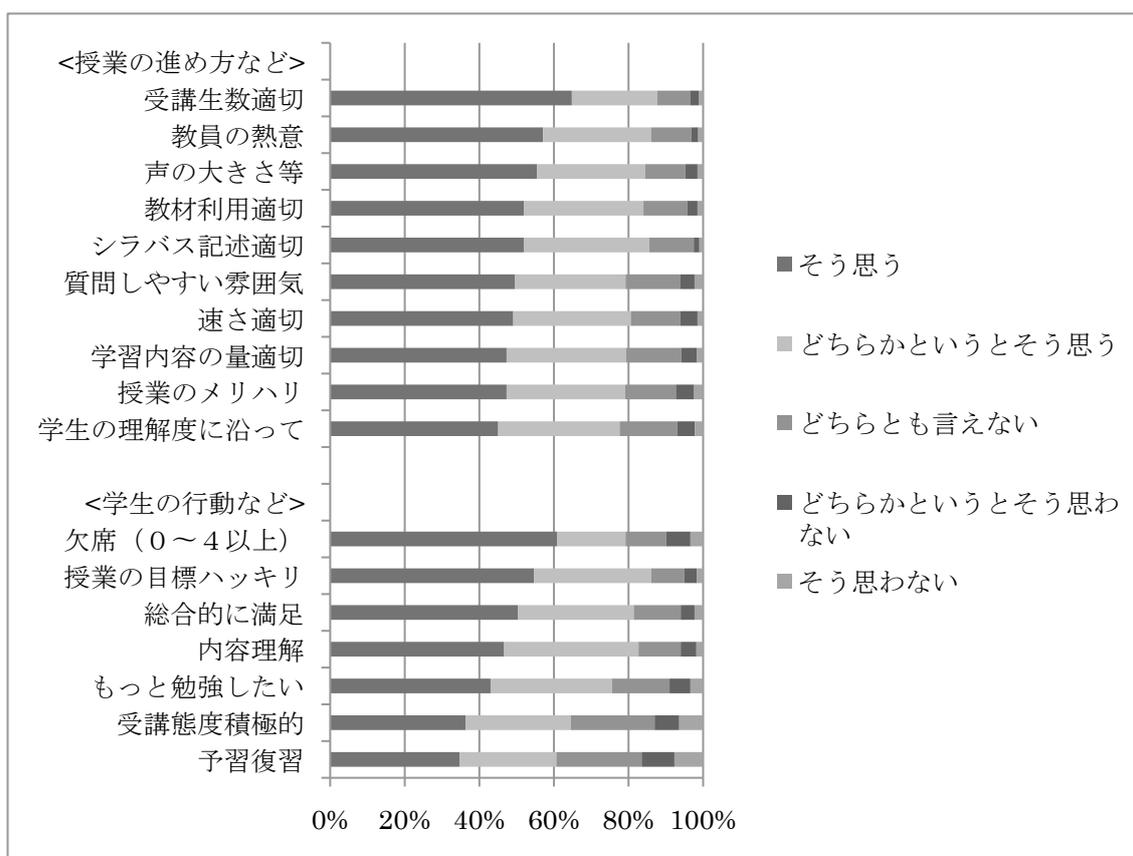


Figure. 平成 29 (2017) 年度後期における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数.

平成 29 (2017) 年度前期の学生による授業評価アンケートは、6 月下旬の 1 週間、前年度と同様に原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施講義科目は 355 科目であり、学生による平均の回答率は 59.7%であった。このほかに体育実技科目 4 科目についても実施された。講義科目の結果は、授業の進め方についての 10 項目では、全ての項目で 75%以上の学生が適切である（そう思う、どちらかというと思う）と回答した。一方、学生の行動・理解についての 7 項目では、積極的な受講態度と予習復習について 60%程度の学生が肯定的な回答であったが、その他の項目では 70%以上が適切な行動・理解を示す回答であった (Figure)。今後、学生の積極的な受講態度、予習復習の実行についての指導を行うことが望まれる。

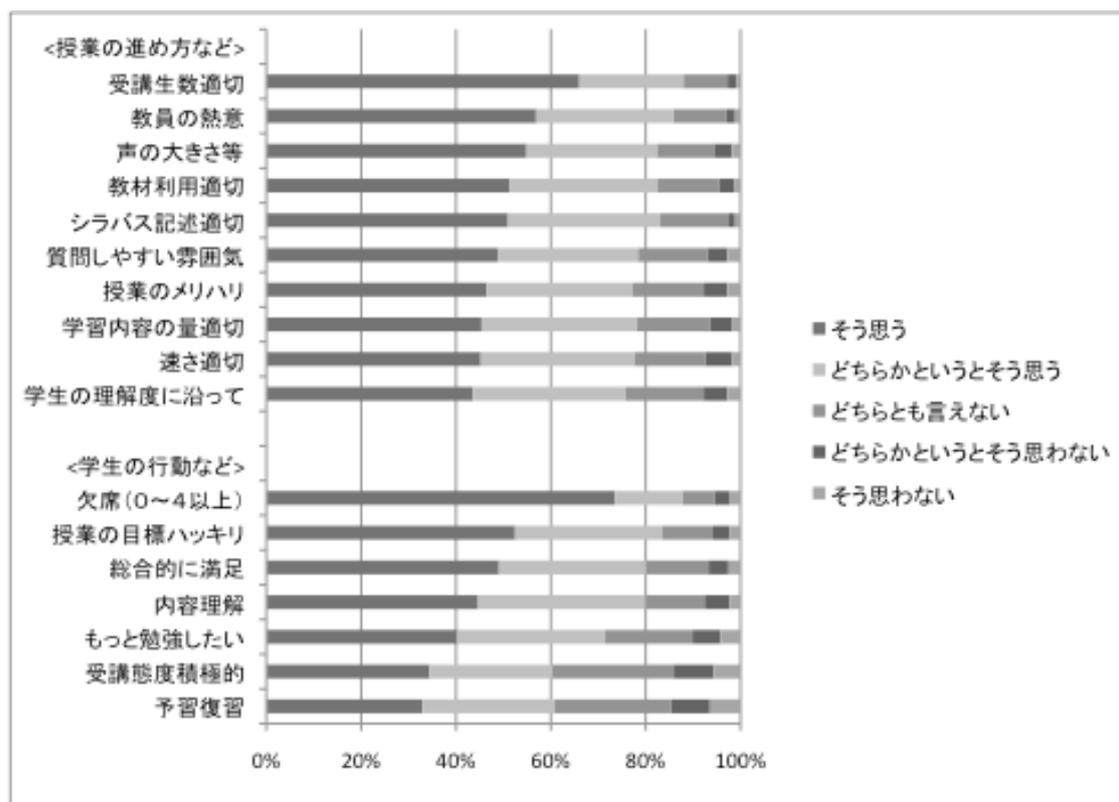


Figure. 平成 29 (2017) 年度前期における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリ別の相対度数.

平成 29 (2017) 年度前期の結果を平成 28 (2016) 年度前期と比較すると、ほとんどの項目で評価が高い方向へ変化した (Table)。すなわち、教員の授業の進め方、学生の行動・理解の双方で改善が認められた。継続した授業評価の実施が、授業改善に有効であることを示すと考えられる。

Table

平成 29 (2017) 年度と 28 (2016) 年度の学生による授業評価アンケートの結果 (相対度数%)

	H29 前期					H28 前期				
	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも 言えない	どちらかという とそう思わない	そう思 わない	そう思う	どちらかという とそう 思う	どちらとも 言えない	どちらかという とそう 思わない	そう思 わない
<授業の進め方など>										
受講生数適切	66.1	22.0	9.2	2.0	0.8	62.9	22.3	11.2	2.5	1.1
教員の熱意	56.9	29.0	11.1	1.9	1.1	59.4	27.1	10.2	2.0	1.2
声の大きさ等	54.9	27.5	12.0	3.8	1.8	55.1	26.8	12.0	4.1	2.0
教材利用適切	51.4	31.0	13.1	3.1	1.4	48.4	30.5	14.7	4.5	1.9
シラバス記述適切	51.0	32.1	14.2	1.6	1.1	47.3	34.9	14.4	2.0	1.3
質問しやすい雰囲気	48.8	29.6	14.6	4.3	2.7	46.4	28.6	18.3	4.5	2.1
授業のメリハリ	46.5	30.8	15.0	4.9	2.8	44.0	31.2	16.4	5.9	2.5
学習内容の量適切	45.4	32.9	15.4	4.5	1.9	43.1	31.9	17.5	5.3	2.1
速さ適切	45.2	32.3	15.0	5.7	1.7	43.9	31.5	16.2	6.0	2.3
学生の理解度に沿って	43.6	32.2	16.6	5.0	2.7	41.4	31.1	19.2	5.7	2.4
<学生の行動など>										
欠席(0~4以上)	73.6	14.2	6.8	3.0	2.4	68.6	16.1	7.9	4.9	2.3
授業の目標ハッキリ	52.5	30.9	10.8	3.6	2.2	46.8	36.1	12.4	3.2	1.4
総合的に満足	49.1	31.0	13.2	4.2	2.5	44.7	32.3	16.2	4.3	2.4
内容理解	44.7	35.3	12.4	5.3	2.3	41.8	34.5	16.1	5.3	2.3
もっと勉強したい	40.3	31.2	18.4	5.9	4.2	35.4	32.3	21.7	7.3	3.2
受講態度積極的	34.5	25.9	25.7	8.3	5.7	32.0	24.3	27.8	9.5	6.2
予習復習	33.0	27.9	24.6	8.2	6.4	26.2	23.8	29.7	12.0	8.3

平成 28 (2016) 年度 前期・後期の学生による授業評価アンケートの分析結果
平成 29 年 9 月 6 日

平成 28 (2016) 年度前期の授業評価アンケートは、6 月下旬から 1 週間、学生がスマートフォンなどを用いてインターネット上の質問項目に回答する形式で実施された。原則として全ての専任教員担当科目と任意参加の非常勤講師担当科目について実施された。実施された講義科目は 205 科目、体育実技科目は 4 科目であった。講義科目についての結果は、授業の進め方についての 10 項目では、授業が学生の理解度に沿って行われたかを問う 1 項目を除いて、他の全ての項目で 75%以上の学生が適切である(そう思う、どちらかというと思う)と回答した。学生の行動・理解についての 7 項目では、もっと勉強したいと思ったか、積極的な受講態度、予習復習の実行についての 3 項目で肯定的な回答が 70%を下回った。その他の項目では 70%以上が肯定的な回答であった。

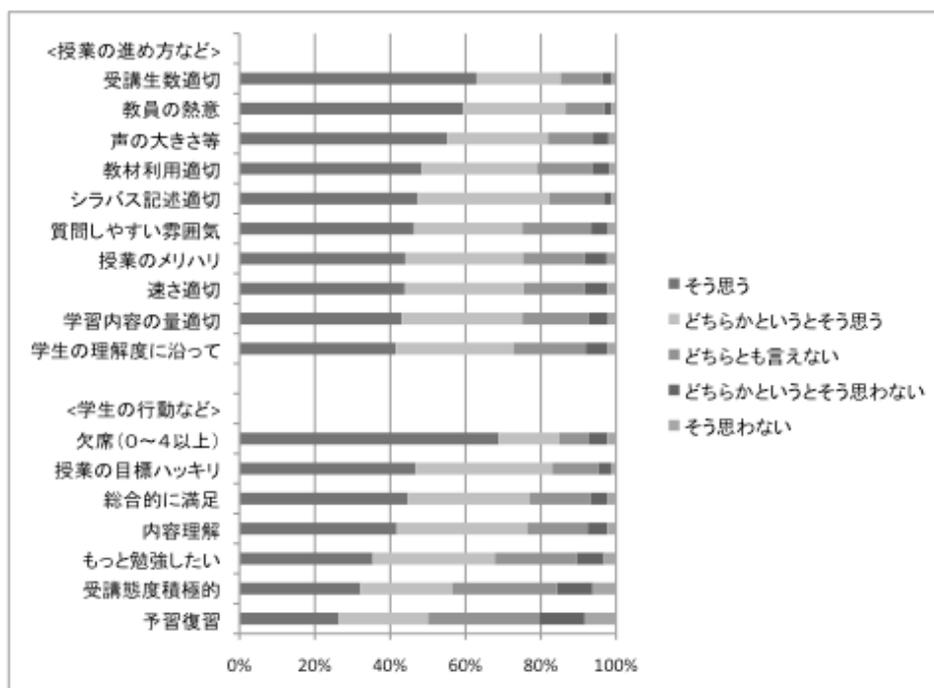


Figure 1. 平成 28 (2016) 年度前期における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数.

平成 28 (2016) 年度後期の授業評価アンケートは、11 月下旬から 1 週間、前期と同様に実施された。実施講義科目は 500 科目で、平均解答率は 61.7% であった。この他に実技科目が 10 科目であった。講義科目についての結果は、授業の進め方についての 10 項目では、全ての項目で 75%以上の学生が適切である（そう思う、どちらかというと思う）と回答し、肯定的な回答が前期に比べて増加した。学生の行動・理解についての 7 項目では、積極的な受講態度、予習復習の実行についての 2 項目で肯定的な回答が 70%を下回ったが、その他の項目では 70%以上が肯定的な回答で、これも前期からの上昇が見られた。全体として、今後、学生の積極的な受講態度、予習復習の実行についての指導を検討することが課題と考えられる。

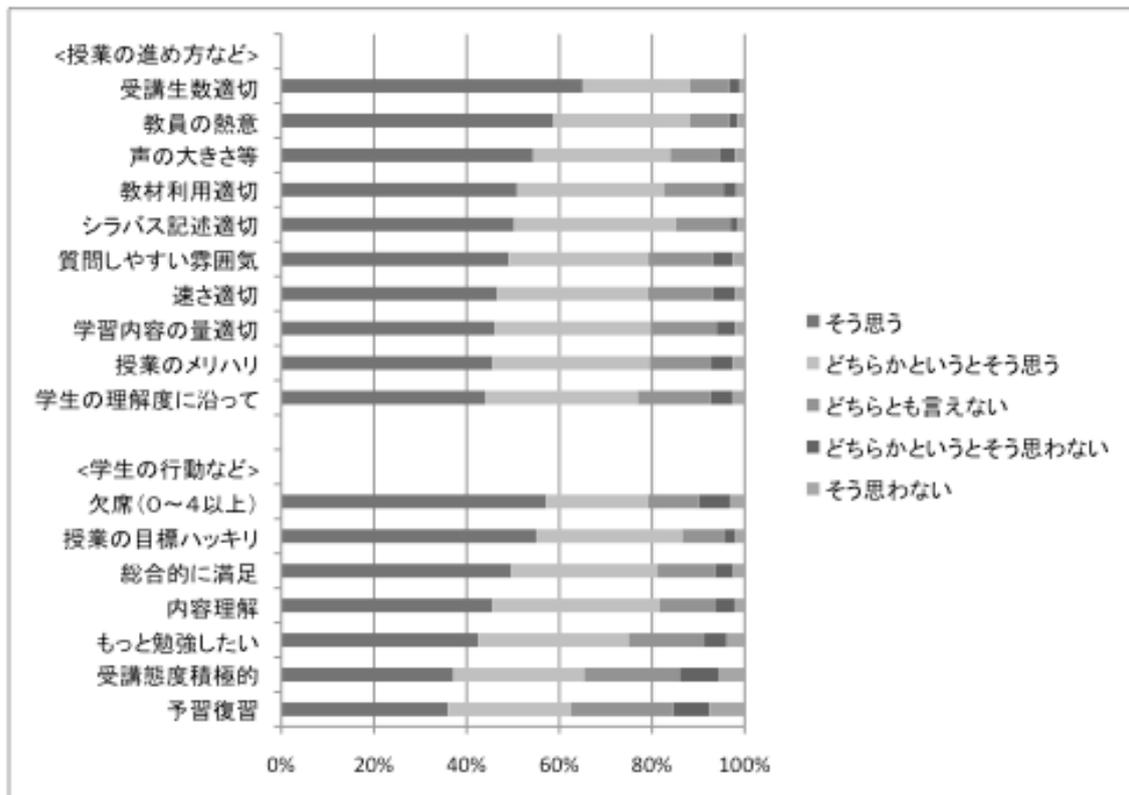


Figure 2. 平成 28 (2016) 年度後期における授業評価アンケートの回答項目別、回答カテゴリー別の相対度数.